

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際アート&デザイン大学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	メディアデザイン科(グラフィックデザインコース)	夜・通信	1,316 時間	160 時間	
	メディアデザイン科(イラストレーションコース)	夜・通信	952 時間	160 時間	
	CG マスター科	夜・通信	1,820 時間	240 時間	
	CG アニメーション科(アニメーション科)	夜・通信	1,120 時間	160 時間	
文化・教養専門課程	e スポーツ科	夜・通信	280 時間	160 時間	
	YouTuber クリエイター科	夜・通信	644 時間	160 時間	
	コミックイラスト科	夜・通信	1,064 時間	160 時間	
	コミックマスター科	夜・通信	1,568 時間	240 時間	
	マンガクリエイター科	夜・通信	812 時間	160 時間	
	音響・ミュージック科	夜・通信	840 時間	160 時間	
	アニメ声優科	夜・通信	1,344 時間	160 時間	
	ペット総合科	夜・通信	1,232 時間	160 時間	

	クリエイティブ 研究科	夜・ 通信	482 時間	80 時間	
(備考) YouTuber クリエイト科は令和 3 年度新設学科					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://fsg-college.jp/mushoka/ad/2021/kamoku2021.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際アート&デザイン大学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://fsg-college.jp/mushoka/ad/2021/riji2021.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2019年6月1日 ～2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月1日 ～2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	団体職員	2020年3月31日 ～2023年5月31日	政策的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際アート&デザイン大学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。</p> <p>毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。</p> <p>授業計画書の公表時期は4月1日とし、学生に対しては4月の授業開始前オリエンテーション時に授業計画を配布して説明する機会を設けている。</p>	
授業計画書の公表方法	www.fsg-college.jp/mushoka/ad/sb
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。</p> <p>期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(100~80点:優) B(79~70点:良) C(69~60点:可) D(59~0点:不可)の4段階評価とする。</p> <p>A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>成績評価においては、客観的指標を設定するために、授業科目ごとの成績評価を100点満点に換算した上で取得点数の平均を求める仕組みを導入している。各学生の平均得点と相対順位を把握する成績評価方法は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科単位を基本として全学生が履修した科目の総得点から平均を求め、「成績一覧表」により学年毎の順位を求める。 ・学生の平均得点と相対順位をもとにした「得点分布表」により、学科学年ごとの成績の分布状況を把握する。 <p>この成績評価方法は半期ごとの集計も可能な方法となっており、「前期」、「後期」、「通年」の成績分布が把握可能な方法である。</p> <p>成績評価の実施については、これらの成績評価の方法により学科学年ごとに実施しており、客観的指標の設定については下記HPにて公開されている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	www.fsg-college.jp/mushoka/ad/seiseki2019.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>卒業に必要な条件については</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 <p>を条件としている。</p> <p>卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況　・期末試験状況　・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。</p> <p>なお、卒業認定に関する規定については、下記HPのみならず、学生の手引きに記載し、学生・保護者に周知している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	www.fsg-college.jp/mushoka/ad/nintei2019.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際アート&デザイン大学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2021/bs2021.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2021/pl2021.pdf
財産目録	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2021/zaisan2021.pdf
事業報告書	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2021/jigyohokoku2021.pdf
監事による監査報告（書）	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2021/kansa2021.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	メディアデザイン科 (グラフィックデザインコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,096 単位時間	336 時間	616 時間	1,144 時間	0 時間	0 時間
			2,096 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人の内数		23人	0人	1人の内数	10人の内数	11人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごと出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。

卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業に必要な条件については・年間 90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年 2 月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
(概要) 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約 1 週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数 (旧グラフィックデザイン科)	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	0 人 (0.0%)	5 人 (71.4%)	2 人 (28.6%)
(主な就職、業界等) 株式会社ユニフォームネット、株式会社フナダスタジオ等 グラフィックデザイナー、Web デザイナー、DTP デザイナー、カメラマン			
((就職指導内容) 就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) サーティファイ Photoshop クリエイター能力認定試験 スタンダード サーティファイ Illustrator クリエイター能力認定試験 スタンダード サーティファイ コミュニケーション検定 初級 AFT 協会 色彩検定 3 級 AFT 協会 色彩検定 2 級 サーティファイ Web クリエイター能力認定試験 エキスパート サーティファイ Photoshop クリエイター能力認定試験 エキスパート サーティファイ Illustrator クリエイター能力認定試験 エキスパート			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	メディアデザイン科 (イラストレーション コース)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,096 単位時間	392 時間	308 時間	1,396 時間	0 時間	0 時間
			2,096 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人の内数	6人	0人	1人の内数	10人の内数	11人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごと出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
(概要) 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 (旧イラストレーション科)	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0.0%)	7人 (77.8%)	2人 (22.2%)
(主な就職、業界等) 株式会社ジュノア、しよこらトータルフォトスタジオ、株式会社フレックス グラフィックデザイナー、Webデザイナー、DTPデザイナー、カメラマン ((就職指導内容) 就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
(主な学修成果(資格・検定等)) サーティファイ Photoshop クリエイター能力認定試験 スタンダード サーティファイ Illustrator クリエイター能力認定試験 スタンダード サーティファイ コミュニケーション検定 初級 AFT 協会 色彩検定 3級 AFT 協会 色彩検定 2級 サーティファイ Web クリエイター能力認定試験 エキスパート サーティファイ Photoshop クリエイター能力認定試験 エキスパート サーティファイ Illustrator クリエイター能力認定試験 エキスパート			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	CG マスター科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,032 単位時間	364 時間	196 時間	2,472 時間	0 時間	0 時間
			3,032 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		35人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごと出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
(概要) 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0.0%)	8人 (100%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、CG 業界他			
((就職指導内容) 就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
(主な学修成果(資格・検定等)) CGクリエイター検定エキスパート、マルチメディア検定3級、色彩検定2級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 該当なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	CGアニメーション科 (アニメーション科)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間	392 時間	112 時間	1,536 時間	0 時間	0 時間
			2,040 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	4人	0人	1人	5人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごと出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
(概要) 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	1人 (25.0%)	3人 (75.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 株式会社新潟アニメーション、株式会社バックボーンワークス、株式会社ユニティ			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） CGクリエイター検定エキスパート、色彩検定2級他			
（備考）（任意記載事項） なお、GCアニメーション科は令和3年度より「アニメーション科」として運営する。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 該当なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	e スポーツ科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間	224 時間	588 時間	1,228 時間	0 時間	0 時間
			2,040 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	10人	0人	1人	1人	2人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 令和3年度より開設の新規学科の為実績なし。			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） なし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	1人	25.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更により退学。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	YouTuber クリエイト科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,914 単位時間	224 時間	602 時間	1,088 時間	0 時間	0 時間
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 令和3年度より開設の新規学科の為実績なし。また、令和3年度入学実績なし。			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 令和3年度より開設の新規学科の為実績なし。また、令和3年度入学実績なし。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 令和3年度より開設の新規学科の為実績なし。また、令和3年度入学実績なし。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	コミックイラスト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間	224 時間	280 時間	1,536 時間	0 時間	0 時間
			2,040 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		47人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	0人 (0.0%)	25人 (69.4%)	11人 (30.6%)
（主な就職、業界等） デザイン業界、広告業界、WEB制作、印刷・DTP制作など、 その他はプロ希望者でアルバイト決定者など			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） illustrator クリエイター能力認定試験スタンダード 83.3% Photoshop クリエイター能力認定検定スタンダード合格率 100%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	2人	3.1%
（中途退学の主な理由） 精神的な問題により退学となった。（2名）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	コミックマスター科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,032 単位時間	308 時間	364 時間	2,360 時間	0 時間	0 時間
			3,032 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	21人	0人	1人	6人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 令和元年度運用開始の学科の為実績なし。			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） illustrator クリエイター能力認定試験スタンダード 93.1% Photoshop クリエイター能力認定検定スタンダード合格率 100%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	マンガクリエイト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,984 単位時間	112 時間	0 時間	1,872 時間	0 時間	0 時間
			1,984 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		6人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
(概要) 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	2人 (20.0%)	8人 (80.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 進学：デジタルハリウッド大学、国際アート&デザイン大学校(別学科) 株式会社リ・ポジション、株式会社イーストプロジェクト等 （就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリア アカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等） サーティファイ illustrator クリエイター能力認定試験 スタンダードスタンダード サーティファイ Photoshop クリエイター能力認定試験 スタンダードスタンダード サーティファイビジネス著作権検定 初級 サーティファイコミュニケーション検定 初級、 AFT 協会 色彩検定 3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	1人	7.1%
（中途退学の主な理由） 家計を支えるため働きながら自主制作をしていこうと進路変更に至った。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	音響・ミュージック科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間	420 時間	448 時間	1,172 時間	0 時間	0 時間
			2,040 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		10人	0人	1人	4人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごと出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	卒業生数	卒業生数	その他
13人 (100%)	0人 (0.0%)	13人 (100%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 株式会社 MTS&プランニング 株式会社メディアココ など、音響・映像分野			
((就職指導内容) 就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 舞台機構調整技能士3級 合格率40% サウンドレコーディング技術認定試験 Bランク2名 Cランク10名 Dランク1名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
中退防止・中退者支援のための取組 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	アニメ声優科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,096 単位時間	112 時間	308 時間	1,676 時間	0 時間	0 時間
			2,096 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		20人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
(概要) 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	2人 (33.3%)	4人 (66.7%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 携帯販売会社、製造業、小売業への就職、声優養成所への進学			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） サーティファイ認定 コミュニケーション検定初級 合格率 100%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	ペット総合科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,012 単位時間	392 時間	476 時間	1,144 時間	0 時間	0 時間
			2,012 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	31人	0人	1人	6人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごと出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
(概要) 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 (0.0%)	18人 (100%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 動物病院、トリミングサロン等			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等））公益社団法人日本愛玩動物協会愛玩動物飼養管理士1, 2級、一般社団法人日本ペット技能専門学校協会トリマー検定1, 2級、サーティファイコミュニケーション検定初級、一般社団法人日本ペット技能専門学校協会家庭犬トレーニングインストラクター			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34人	2人	5.9%
（中途退学の主な理由） ・学費が支払えなくなったため。・目標が変わったため。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	クリエイティブ研究科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	890 単位時間	64 時間	34 時間	792 時間	0 時間	0 時間
			890 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		1人	0人	1人	4人	5人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格とし単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（概要）</p> <p>進級・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	人 (0.0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 前年度在籍無し			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 前年度在籍なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
メディアデザイン科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
CG マスター科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
アニメーション科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
e スポーツ科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
YouTuber クリエイティブ科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
コミックイラスト科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
コミックマスター科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
マンガクリエイティブ科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
音響・ミュージック科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
アニメ声優科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
ペット総合科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
クリエイティブ研究科	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
修学支援 (任意記載事項)				
【特待生制度】 受験する際に書類審査・面接試験の結果、ランク判定により5万円～30万円を免除 【進級時特待生制度】 2年次進級する際に一定の条件を満たした者に対して5万円または10万円を免除				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) (A&D) https://fsg-college.jp/mushoka/ad/2021/jikohyouka2021.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに、任意団体である全国専門学校経営研究会（加盟校：26 法人 113 校）により協議検討を重ねた「自己点検・評価基準」を主に点検基準表を策定し自己評価したものを、外部から委員として企業等や卒業生により構成された学校関係者評価委員の有識者により、学校運営に関する点検・評価に対して意見を伺い、学校長が再点検の上、学校運営に反映させる方針とする。</p> <p>学校関係者評価の結果については学校関係者評価報告書としてまとめ、ホームページ等で公表する。報告書の内容については教職員会において周知するとともに、教育課程編成委員会においても説明することで学校としての課題と改善の取り組みを共有し、教育活動や学校運営の改善等に活用する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社アイ・シー・オー	2021年4月1日～ 2022年3月31日	企業等委員
国際アート&デザイン大学校 同窓会会長	2021年4月1日～ 2022年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) (A&D) https://fsg-college.jp/mushoka/ad/2021/hyouka2021.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 国際アート&デザイン大学校ホームページアドレス http://www.art-design.ac.jp/</p>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	国際アート&デザイン大学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		58人	54人	58人
内 訳	第Ⅰ区分	32人	33人	
	第Ⅱ区分	20人	16人	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				58人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。